

国立大学法人千葉大学 令和2事業年度決算概要

01.財務諸表ダイジェスト

(単位：百万円)

貸借対照表

令和3年3月31日における本学の財政状態を示すもので、平成16年の法人化移行時に国から引き継いだものも含めて、すべての資産、負債及び純資産の状況を表します。

資産 265,102	負債 96,780
現金及び預金 (内数) 24,280	純資産 168,321
	未処分利益 (内数) 1,771

損益計算書

令和2年4月1日～令和3年3月31日の本学の事業規模を明らかにするもので、本学の教育・研究等の業務運営に要した費用、運営費交付金・自己収入等による収益や利益の発生状況を表します。

経常費用 + 臨時損失 73,740	経常収益 + 臨時利益 + 目的積立金取崩 75,511
当期総利益 1,771	

利益の処分に関する書類

損益計算書により算定された当期未処分利益の処理内容を表します。

目的積立金 1,771	未処分利益 1,771
----------------	----------------

キャッシュ・フロー計算書

令和2年4月1日～令和3年3月31日における本学の資金の流れを、一定の活動別に区分して表します。

支出 104,755	収入 112,539
資金増加額 7,783	

国立大学法人等 業務実施コスト計算書

本学の教育・研究等の業務運営に要した費用のうち、どの程度国民負担により賄われたかを表します。

損益計算書上の 費用 73,740	自己収入等 50,198
▲1,938	国立大学法人等 業務実施コスト 21,603

損益計算書上には計上されない
費用相当額

- ・損益外減価償却相当額
- ・損益外利息費用相当額
- ・損益外除売却差額相当額
- ・引当外賞与増加見積額
- ・引当外退職給付増加見積額
- ・機会費用

02.貸借対照表の概要

1.貸借対照表

貸借対照表は大学の財政状況を明らかにするものです。

大学が所有する資産（教育・研究・診療活動等に必要な資源）と、その調達方法である負債（他人資本）及び純資産（自己資本）が示されています。

(単位：億円)

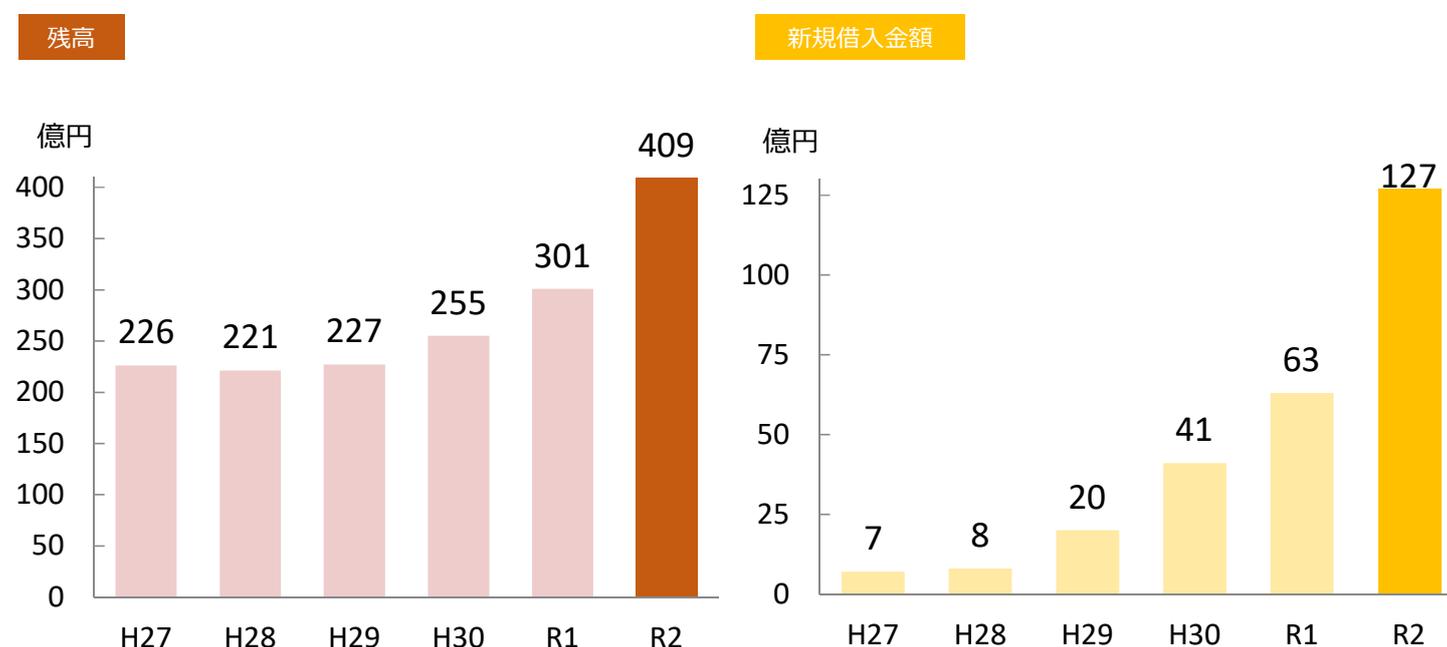
資産の部			負債の部		
固定資産			資産見返負債	154	(151)
土地	1,262	(1,293)	借入金	409	(301)
建物等 ※ 1	833	(482)	長期未払金 ※ 3	170	(16)
備品	118	(75)	寄附金債務	45	(41)
図書	50	(51)	未払金	114	(133)
建設仮勘定 ※ 1	1	(111)	その他	75	(49)
投資有価証券	6	(25)	負債合計	968	(692)
その他	12	(7)			
流動資産			純資産の部		
現金及び預金 ※ 2	243	(164)	資本金	1,506	(1,506)
未収入金	99	(71)	資本剰余金	109	(52)
有価証券	22	(17)	利益剰余金	50	(42)
棚卸資産	0	(4)	当期末処分利益(当期末処理損失)	18	(9)
その他	6	(1)	純資産合計	1,683	(1,609)
資産合計	2,651	(2,301)	負債・純資産合計	2,651	(2,301)

単位未満四捨五入のため、計が一致しない場合がある。

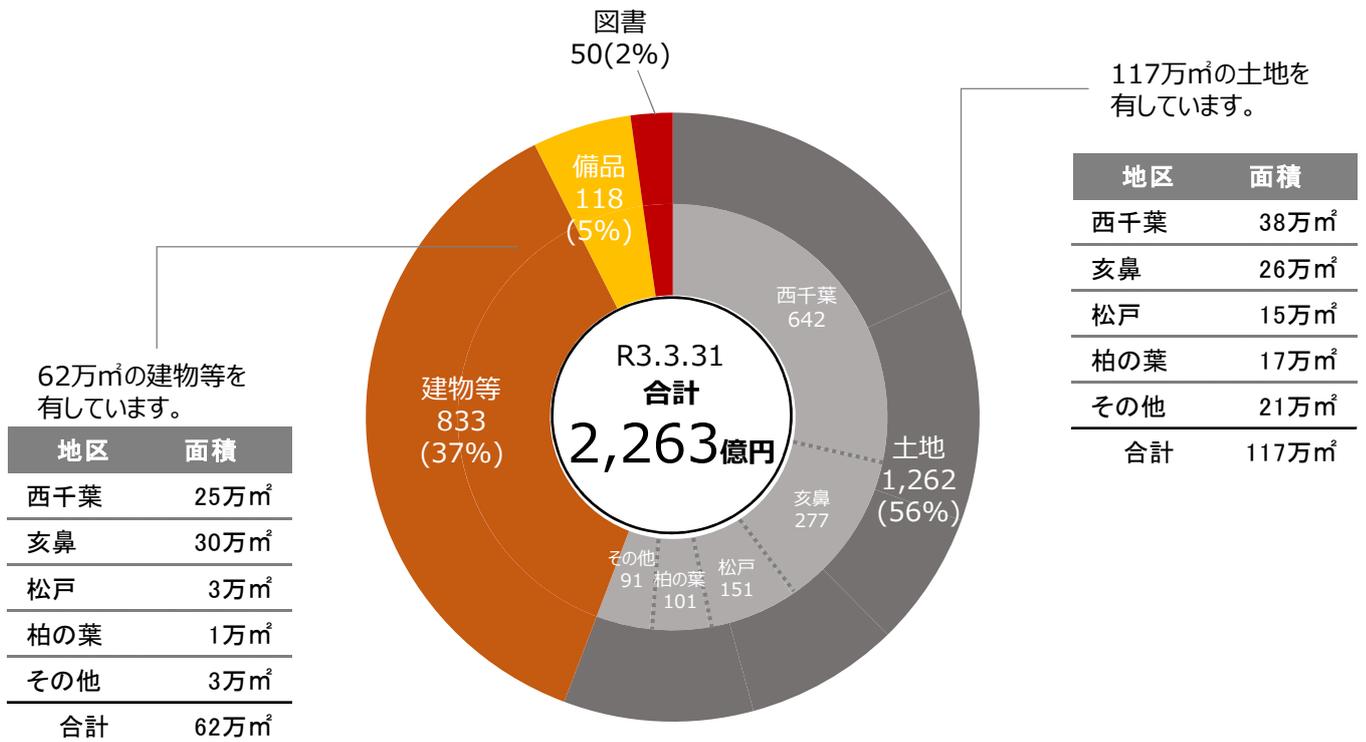
() は令和元事業年度

- 附属病院中央診療棟新営その他工事などにより、建物等が増加しています。また、その完成に伴い、建設仮勘定が減少しています。(※ 1)
- 宿舍他の売却に伴い、現金及び預金が増加しています。(※ 2)
- 医学系総合研究棟整備等事業 (PFI事業) の開始に伴い、長期未払金が増加しています。(※ 3)

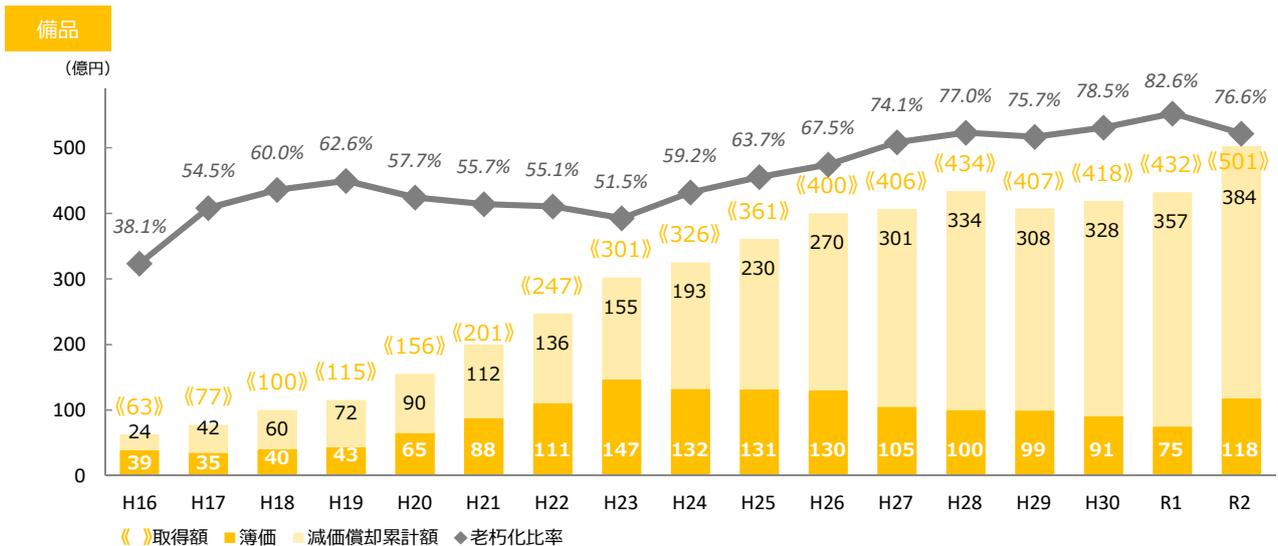
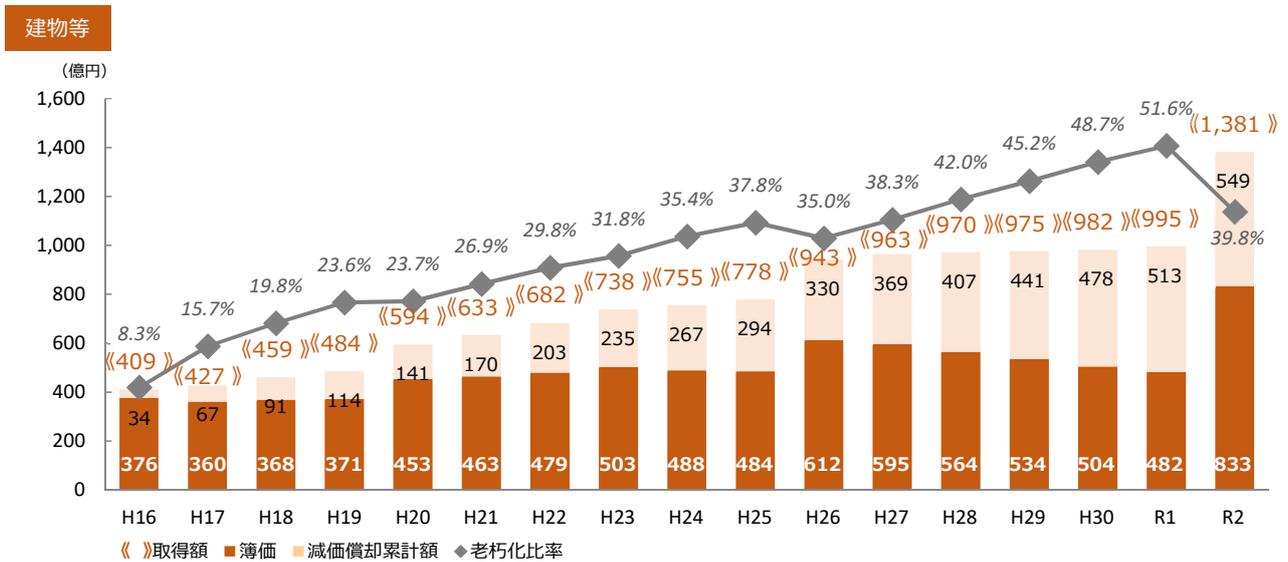
借入金の年度別推移



2. 主要な有形固定資産の内訳



施設等取得額・老朽化比率の年度別推移



03.損益計算書の概要

1.損益計算書

損益計算書は大学の運営状況を明らかにするものです。
 事業活動を行うためにかかった費用（教育・研究経費、診療経費等）とそれに充当した収益（運営費交付金収益、学生納付金収益、附属病院収益等）を示しています。

(単位：億円)

経常費用			経常収益		
教育経費	31	(29)	運営費交付金収益	179	(173)
研究経費	36	(36)	学生納付金収益	83	(83)
診療経費 ※ 1	249	(235)	附属病院収益	353	(363)
教育研究支援経費	13	(13)	外部資金	55	(60)
受託研究費等	28	(32)	機関補助金 ※ 3	59	(11)
人件費 ※ 2	357	(345)	その他	24	(28)
一般管理費	18	(17)			
その他	1	(1)			
経常費用合計	733	(708)	経常収益合計	754	(718)
臨時損失	5	(5)	臨時利益	1	(4)
			目的積立金取崩等	0	-
計	737	(713)	計	755	(722)

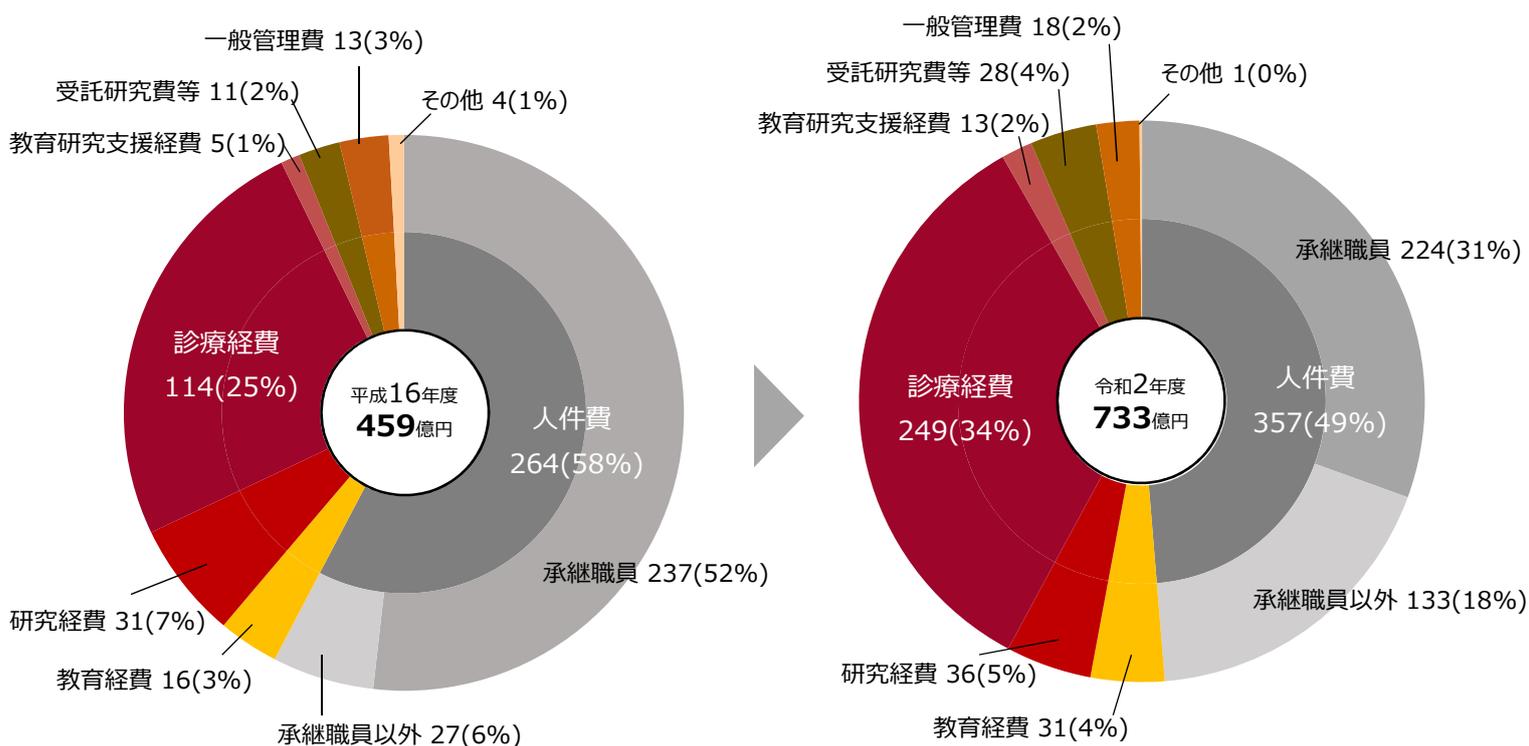
当期総利益（損失） 18 (9)

単位未満四捨五入のため、計が一致しない場合がある。

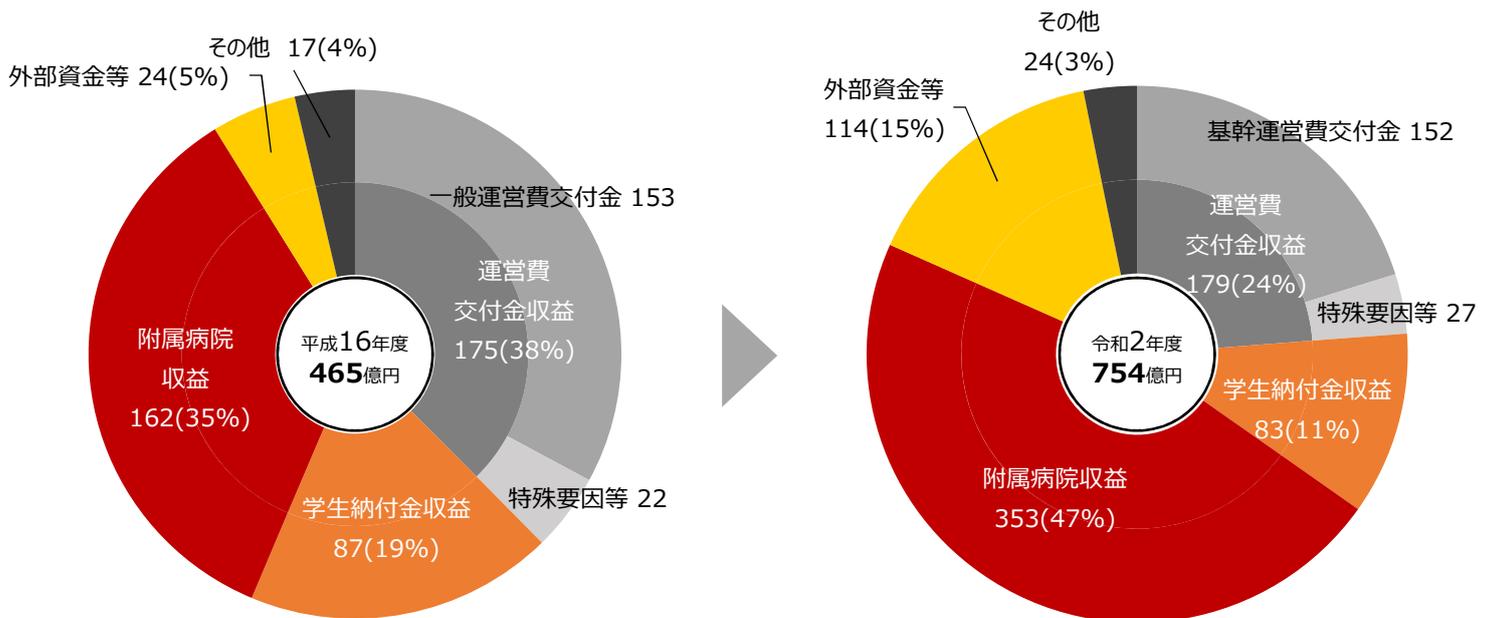
() は令和元事業年度

- 中央診療棟竣工に伴う設備移転経費の増加により、診療経費が増加しています。(※ 1)
- 新型コロナウイルス対応特別一時金の支給、看護師等の採用の増加により、人件費が増加しています。(※ 2)
- 新型コロナウイルス感染症対策事業補助金等の採択に伴い、機関補助金が増加しています。(※ 3)

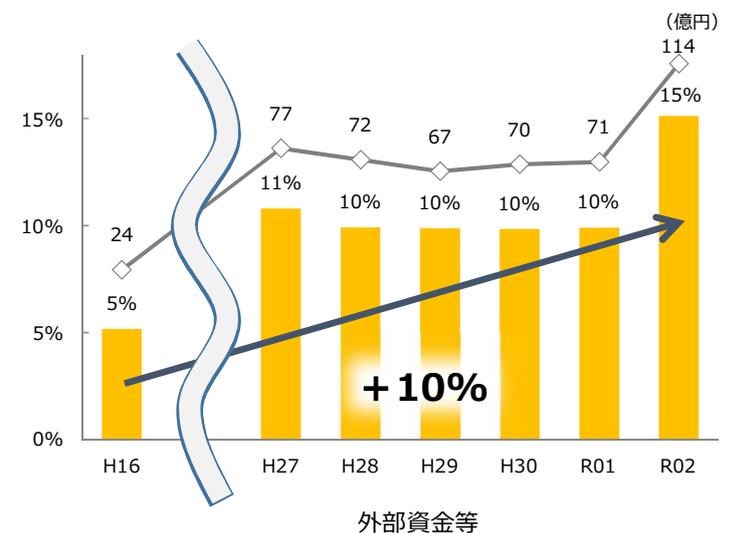
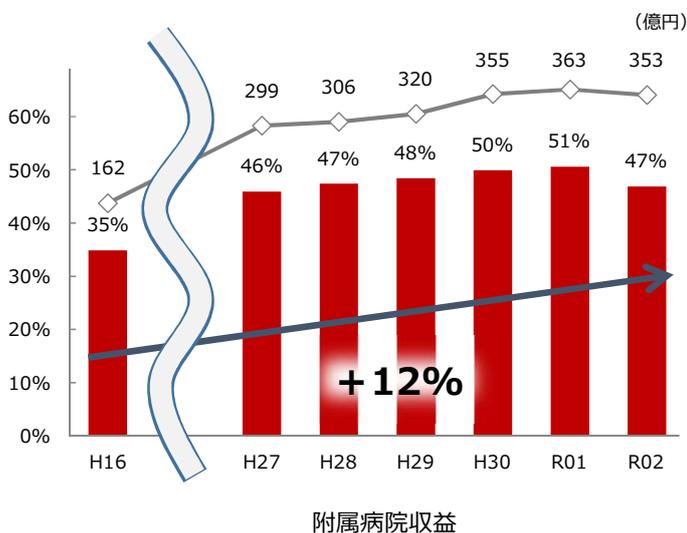
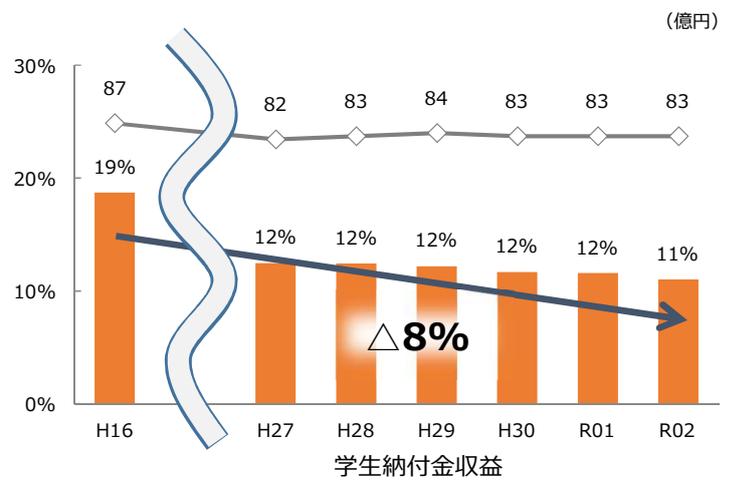
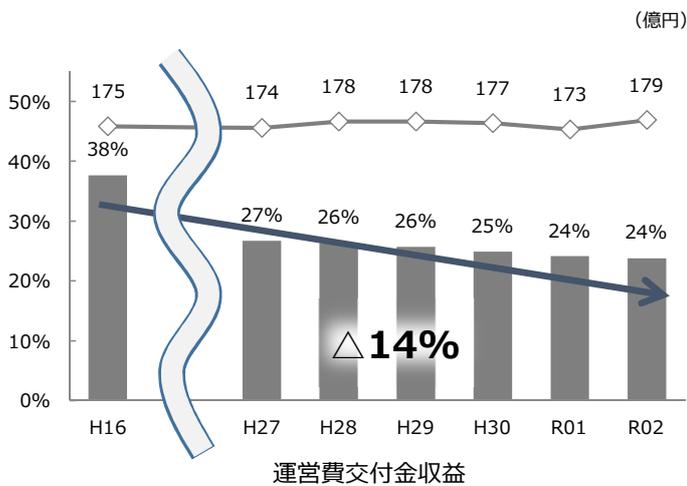
2.主要な経常費用（シェア）の推移



3. 主要な経常収益（シェア）の推移

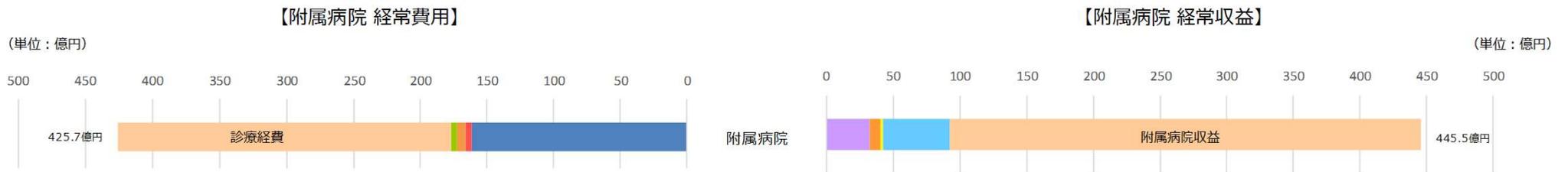
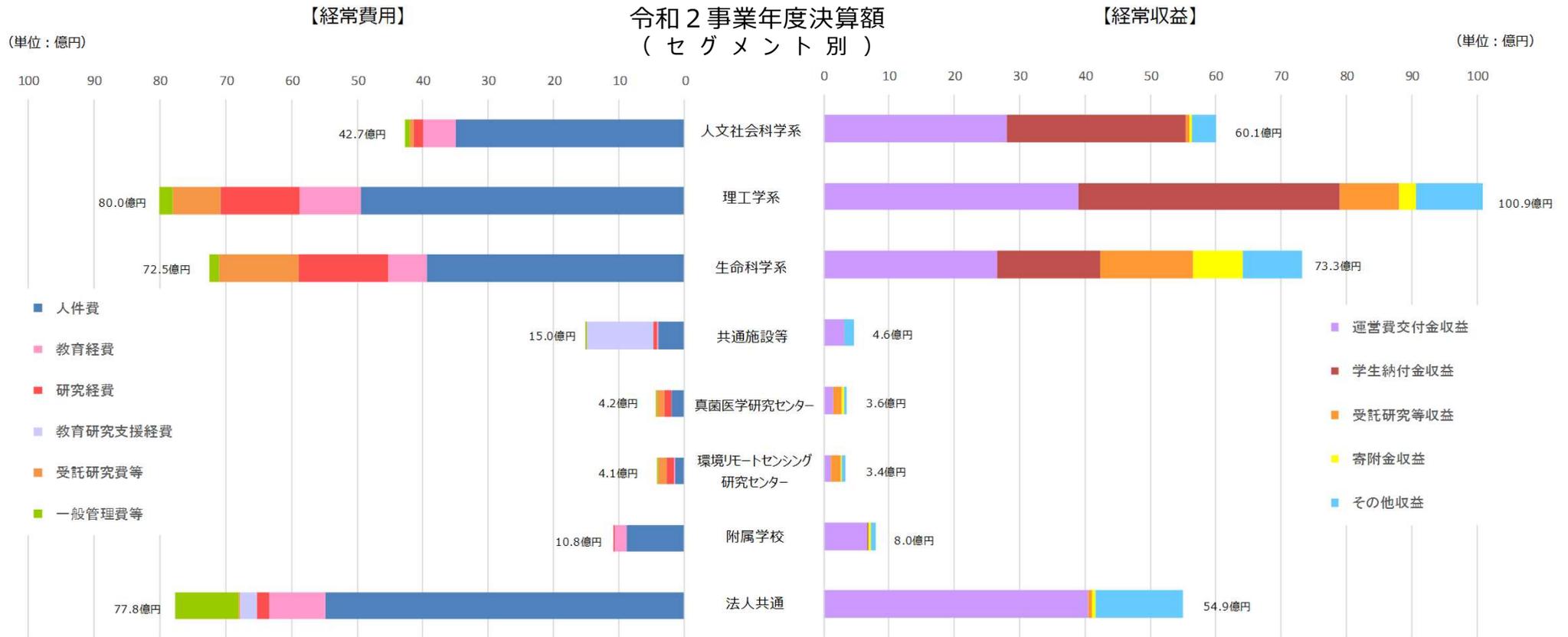


平成16年度（国立大学法人化の初年度）と比べ、経常収益合計に占める運営費交付金収益のシェアが減少しています。その一方で、附属病院収益・外部資金等のシェアが増加しています。



04. セグメント別の状況

国立大学法人は公共的な性格を有し、利益の獲得を目的としないため、通常の業務を行えば損益が均衡するように制度設計されています。また、附属病院においては、対価を伴う業務により収益が計上されるため、企業会計と同様の会計処理を行います。



各セグメントに属する主な部局等は以下のとおり
 (人文社会科学系)：国際学術研究院、教育学部、人文科学研究院、社会科学研究院
 (理工学系)：園芸学研究科、理学研究院、工学研究院
 (生命科学系)：看護学研究科、医学研究院、薬学研究院
 (共通施設等)：附属図書館、統合情報センター